

食品ロスの削減について

まだ食べられるのに、包装が破損しているなどの理由から捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が多く発生しています。食品ロスの発生はもったいないことであり、ごみの増加にもつながります。

フードバンク活動等の紹介

フードバンク活動とは、まだ食べられるのに、様々な理由で廃棄されてしまう食品を集め、食べ物を必要としている福祉施設等へ無償で届ける社会的支援活動です。

対象となる食品

フードバンクの対象となる食品は、主に次の理由から事業者が販売できなくなった食品です



印刷ミスや包装に破損があるもの



販売期限切れにより販売できなくなった在庫



定番カット食品や販売期限を超え返品された食品



新商品や規格変更により店頭から撤去された食品



売れ残り

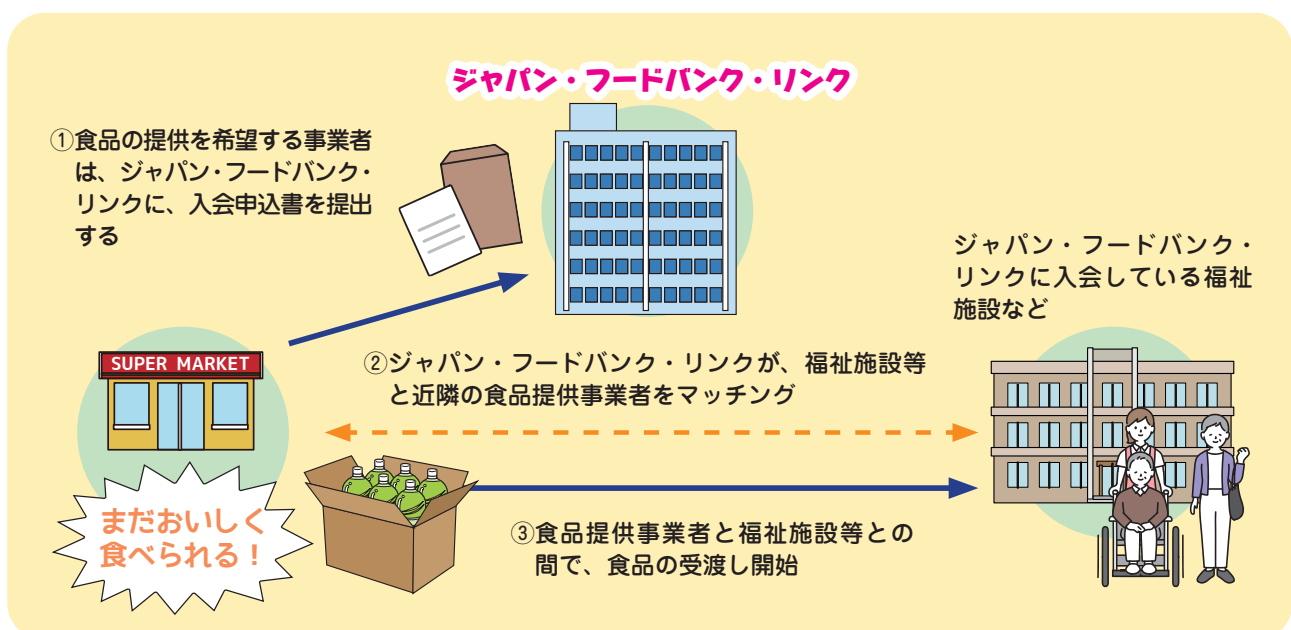
◆フードバンク東広島（東広島市高屋町中島 415）

食品の提供を希望する場合、毎月3回、8がつく日（8日、18日、28日）10時～12時、13時～15時まで開設しています。開設日に直接持ち込んでください。

※日本語で食品表示があり、1か月以上賞味期限があるもの、常温保存でき未開封のものに限ります。

◆ジャパン・フードバンク・リンク（福山市船町 6-16）

食品の提供を希望する場合、ジャパン・フードバンク・リンクのホームページをご覧ください、入会申込書をジャパン・フードバンク・リンクに提出してください。



食品ロス削減協力店

東広島市では、「ひがしひろしま食品ロスゼロ運動！」をスローガンとして、食品ロスを無くすことを目標に、食品ロス削減啓発に取り組んでいます。この運動に賛同し、食品ロス削減の取り組みを実践する市内の事業者（飲食店、食料品小売店など）を「協力店」として登録しています。東広島市のホームページに「食品ロス削減協力店」の一覧表を掲載しています。



食品リサイクル

食品リサイクル法では、食品廃棄物のリサイクル等の実施にかかる事業者の責務などを規定しており、同法で定められている食品関連事業者には、食品廃棄物の「発生抑制」「減量」「リサイクル」の取り組みを推進する責任があります。



※食品製造業から出る食品廃棄物は産業廃棄物（動植物性残さ）として適正に処理してください。

【発生抑制・減量】

- ・食材、食品は計画的に仕入れて、無駄の無いように調理しましょう。
- ・廃棄時は、水切りを徹底して減量を図りましょう。

【食品廃棄物のリサイクル】

- ・食品リサイクル業者に収集運搬や処理を委託し、飼料や肥料へリサイクルを進めましょう。
- ・まだ十分に食べられる食品は、フードバンク等（19頁参照）へ提供することも検討してください。

機密文書の資源化について

企業や事業所から出る「機密文書」は、適切に処理するだけでなく、資源として再び活用できる貴重な紙資源です。東広島市では、紙ごみの焼却処理を減らし、環境にやさしい循環型社会を実現するため、機密文書のリサイクルを推進しています。

なぜリサイクルが必要なの？

- ・事業系一般廃棄物の中でも、紙ごみは大きな割合を占めています。
- ・機密文書は焼却ではなくリサイクルすることで、森林資源の保全、温室効果ガスの排出抑制につながります。

機密文書のリサイクルとは？

機密文書は、専門のリサイクル業者で

- ・回収
- ・裁断・溶解などの安全な処理
- ・再生紙やトイレットペーパー等へ再資源化

といった工程を経て、再び資源として活用されます。

このため、情報漏えいの心配をせずに、安心してリサイクルに取り組むことができます。



未来のために、ご協力をお願いします。

機密文書のリサイクルは、環境負荷を減らし、資源の循環を進める大切な取り組みです。東広島市は、皆さまとともに環境にやさしいまちづくりを進めていきます。